

## Ⅱ. 琵琶湖流域下水道

### 湖南中部処理区



▲湖南中部浄化センター（草津市）

### 湖西処理区



▲湖西浄化センター（大津市）

## 東北部処理区



▲東北部浄化センター（彦根市）

## 高島処理区



▲高島浄化センター（高島市）

## 1. 計画の概要

区 分	琵琶湖流域下水道			
	湖南中部処理区	湖西処理区	東北部処理区	高島処理区
供用開始年月日	S 57. 4. 1	S 59. 11. 1	H 3. 4. 1	H 9. 4. 1
計画処理面積	約 28,430ha	約 3,429ha	約 13,994ha	約 2,501ha
計画処理人口	約 795千人	約 122千人	約 345千人	約 46千人
計画処理水量	約 487千m <sup>3</sup> /日	約 67.5千m <sup>3</sup> /日	約 206千m <sup>3</sup> /日	約 29.4千m <sup>3</sup> /日
排除方式	分流式（汚水と雨水とに分けて処理する方式）			
管渠延長	約 184 km	約 16 km	約 157 km	約 27 km
中継ポンプ場	7箇所	3箇所	6箇所	4箇所
浄化センター敷地面積(位置)	約 62.3ha 〔草津市矢橋町 字 帰帆 2108 番〕	約 10.7ha 〔大津市苗鹿三丁 目および木の岡 町地先〕	約 46.7ha 〔彦根市松原町、 宮田町および 米原市磯地先〕	約 7.5ha 〔高島市今津町今 津および高島市 新旭町饗庭地先〕
関係市町	9市2町 〔大津市〕 〔近江八幡市〕 〔草津市〕・〔守山市〕 〔栗東市〕・〔甲賀市〕 〔野洲市〕・〔湖南市〕 〔東近江市〕 〔日野町〕・〔竜王町〕	1市 〔大津市〕	4市4町 〔彦根市〕・〔長浜市〕 〔米原市〕・〔愛荘町〕 〔豊郷町〕・〔甲良町〕 〔多賀町〕 〔東近江市〕	1市 〔高島市〕

注1. 計画処理人口は、観光人口を含まない。

2. 管渠延長には、放流渠を除外している。

3. ○ は、事業実施市町

## 2. 法手続の経過

### 都市計画法 計画決定

処理区名	決定年月日	変更年月日 (最終)	ポンプ施設 (箇所)	処 理 施 設	
				名 称	敷地面積 (ha)
湖南中部	S 47. 3. 22	H19. 12. 19	7	湖南中部浄化センター	約 63.7
湖 西	S 53. 1. 20	H 6. 5. 6	3	湖西浄化センター	約 11.1
東 北 部	S 55. 3. 27	H24. 9. 28	6	東北部浄化センター	約 46.7
高 島	H 2. 1. 12	H16. 12. 6	4	高島浄化センター	約 7.5

### 都市計画法 事業認可

許可年月日 (最終変更年月日)	事業実施期間
S 47. 3. 24 (H23. 12. 22)	S 47. 3. 24 ~H28. 3. 31
S 53. 3. 13 (H22. 3. 31)	S 53. 3. 13 ~H28. 3. 31
S 57. 2. 23 (H25. 3. 11)	S 57. 2. 23 ~H28. 3. 31
H 2. 9. 1 (H23. 2. 14)	H 2. 9. 1 ~H28. 3. 31

### 下水道法事業計画

流 域 下水道名	処理区名	許可年月日 (最終届出年月日)	事業実施 期 間	予定処理 区域面積 (ha)	管渠 延長 (km)	処 理 施 設					
						名 称	敷地 面積 (ha)	処理方法	計画水量 (日最大) (千 <sup>3</sup> m <sup>3</sup> /日)	処理能力 (日最大) (千 <sup>3</sup> m <sup>3</sup> /日)	計画処理人口 (観光人口含まず) (千人)
琵琶湖 域 下 水 道	湖南中部	S 47. 3. 22 (H23. 12. 22)	S 47. 3. 22 ~H28. 3. 31	約 20,993	汚水 約 178.0 雨水 約 3.9	湖南中部浄化センター	約 62.3	凝集剤添加循環式硝 化脱窒法+砂濾過法 凝集剤添加多段硝化 脱窒法+砂濾過法	約 319	約 321	約 706.0
	湖 西	S 47. 3. 22 (H22. 3. 31)	S 53. 3. 3 ~H28. 3. 31	約 3,201	約 15.8	湖西浄化センター	約 10.7	凝集剤添加循環式硝 化脱窒法+砂濾過法 凝集剤添加多段硝化 脱窒法+砂濾過法	約 59	約 60	約 118.4
	東 北 部	S 47. 3. 22 (H24. 10. 25)	S 57. 5. 25 ~H28. 3. 31	約 11,557	約 138.9	東北部浄化センター	約 46.7	凝集剤添加多段硝化 脱窒法+砂濾過法	約 124	約 142	約 284.1
	高 島	S 47. 3. 22 (H23. 2. 14)	H 2. 9. 1 ~H28. 3. 31	約 2,289	約 27.3	高島浄化センター	約 7.5	凝集剤添加循環式硝 化脱窒法+砂濾過法 凝集剤添加多段硝化 脱窒法+砂濾過法	約 25	約 25	約 42.4

### 3. 湖南中部処理区

琵琶湖流域下水道4処理区の中で、最も規模が大きなもの、昭和47年3月22日に都市計画決定および下水道法の事業認可、同年3月24日に都市計画の事業認可を受け、昭和48年3月28日に管渠工事、同年4月26日に浄化センター工事に着手しました。その後、住民の環境保全思想の高まりの中で、浄化センター工事を一時中断し、白紙の立場で、昭和51年1月31日から9月30日まで環境影響調査を実施し、処理場の位置等について検討を行いました。これを受けて県では方針を決定し、更に工法の検討を経て工事を再開しました。

浄化センター敷地については湖底浚渫により埋立てるものとし、昭和52年10月に造成工事が再開され、昭和61年8月に竣工しました。

浄化センターの建設工事は、昭和53年12月にポンプ棟工事に着手して以来、各施設の工事を進め、昭和57年4月から処理能力7,000m<sup>3</sup>/日で供用開始しました。その後関連市町の下水道整備に伴う流入水量の増加に応じて、順次増設を行ってきており、平成26年4月1日現在、268,500m<sup>3</sup>/日の処理能力を有しています。

なお現在、大津市、草津市をはじめとする9市2町で供用しています。

#### (1) 湖南中部浄化センターの概要

項 目		内 容					備 考	
位置(公有財産表による)		草津市矢橋町字帰帆2108番						
処 理 場 面 積		約 62.3ha						
下 水 排 除 方 式		分流式						
処 理 方 法		凝集剤添加循環式硝化脱窒法+砂濾過法					1-A, 2, 3系	
		凝集剤添加ステップ流入式多段硝化脱窒法+砂濾過法					1-B, 4, 5系	
処理水量(日最大)		全体計画		約487,400m <sup>3</sup> /日				
		H25年度末現在		268,500m <sup>3</sup> /日				
処 理 区 域 面 積		全体計画		約28,429.9ha				
		H25年度末現在		17,465.9ha				
処 理 対 象 人 口		全体計画		約795,400人			観光人口を 含まない	
		H25年度末現在		707,108人				
処 理 状 況	区 分	BOD (mg/l)	COD (mg/l)	SS (mg/l)	T-N (mg/l)	T-P (mg/l)		
	H25年度流入水質		180	99.6	193	31.4	3.42	
	放 流 水 質	排水基準値	20	20	70	15	0.5	日間平均値
		基準値	4.8	20	40	(※)5,10	0.25	
		目標値	4.8	10	6	(※)5,10	0.25	
H25年度実績		0.7	5.2	N.D.	4.8	0.05	年平均値	

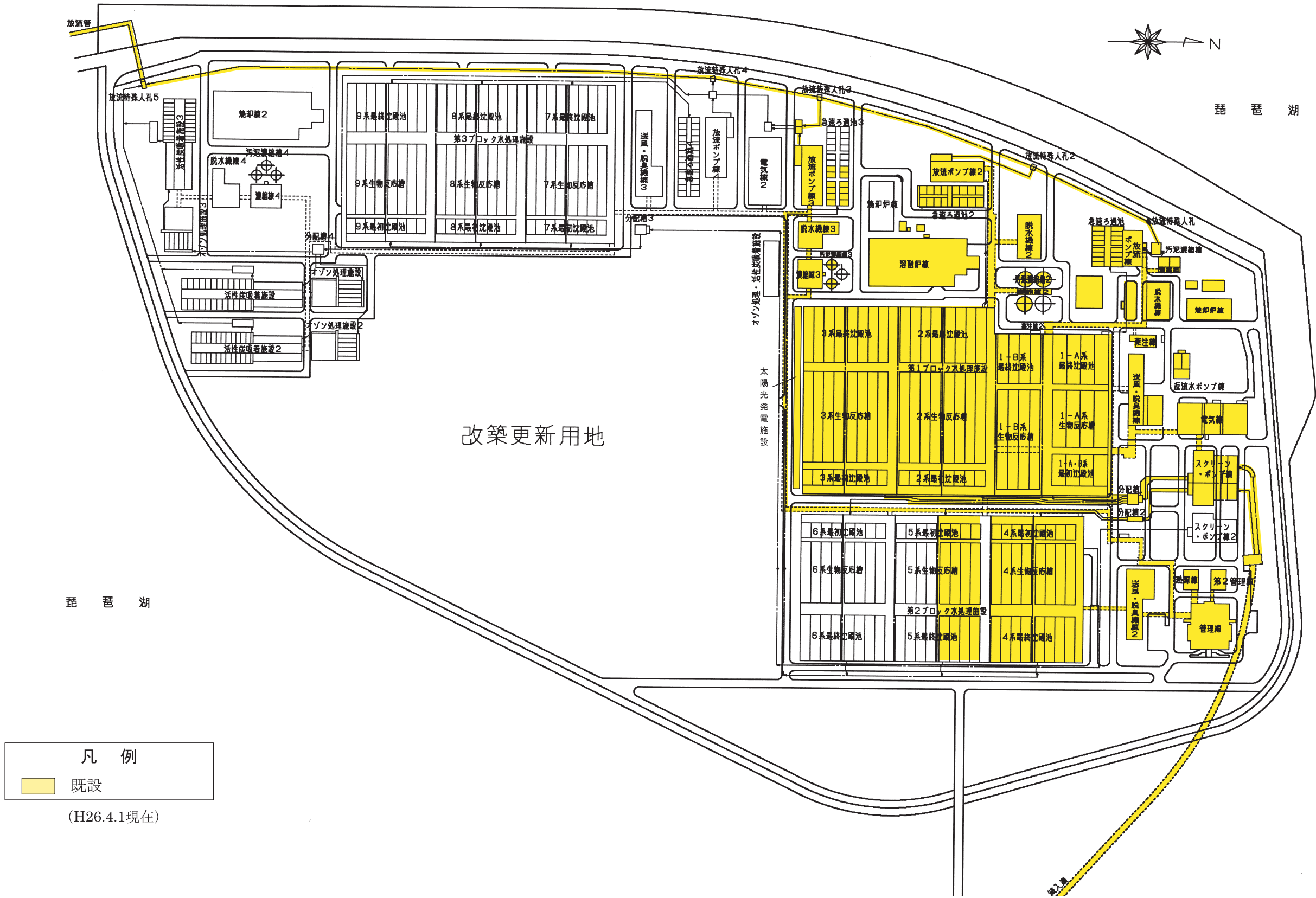
- ・排水基準値とは、水質汚濁防止法第3条等によって定められている基準値である。
- ・基準値とは、下水道法第8条によって定められる技術上の基準値である。
- ・目標値とは、維持管理上の自主基準値である。
- ・実績値は、上記の両処理方法を併用して処理した放流水質の平均値である。
- ・N.D.とは「検出せず」のことで、定量限界未満をいう。
- ・(※)5mg/lは、凝集剤添加多段硝化脱窒法+砂濾過法の基準値、10mg/lは、凝集剤添加循環式硝化脱窒法+砂濾過法の基準値である。

## (2) 施設計画の概要

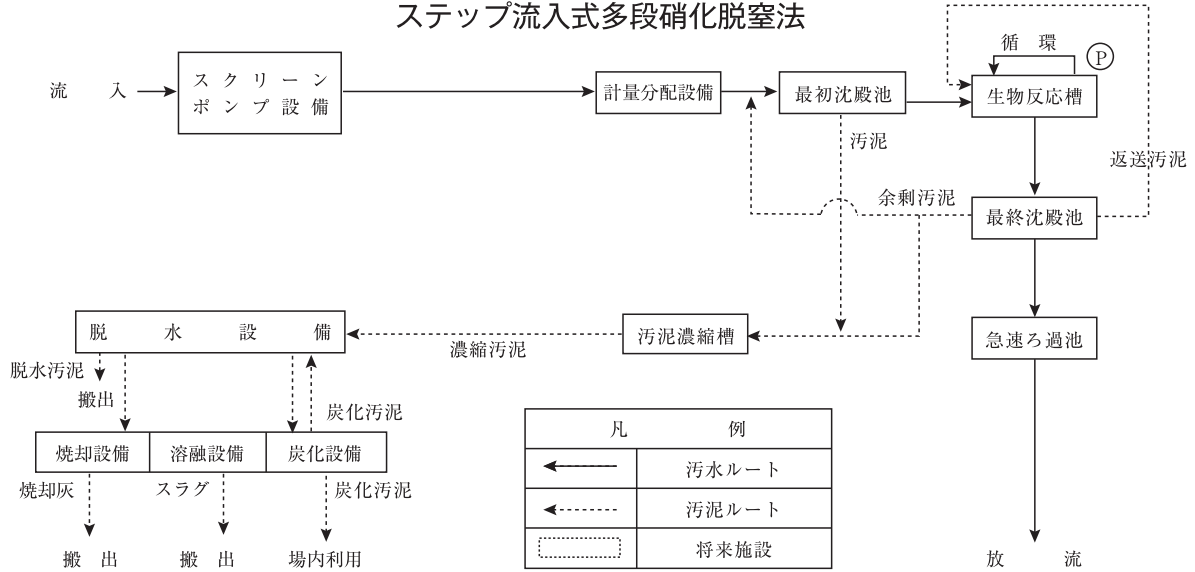
施設名称	形 式 ・ 寸 法	系 列	全体 計画	平成25年度未整備量		平成26年度未整備予定	
				土木・建築	機械・電気	土木・建築	機械・電気
スクリーン	巾 3.5m		8水路	5水路	3水路	—	—
主ポンプ設備	立軸渦巻斜流ポンプ φ 700		9台		4台		—
	立軸渦巻斜流ポンプ φ 900		2台	2棟	2台		—
最初沈殿池	巾 13.4m×長31.0m×有効深 3.0m	1系	4池	4池	4池	—	—
	巾 9.8m×長20.8m×有効深 3.0m	2系	8池	8池	8池	—	—
	巾 9.6m×長17.0m×有効深 3.0m	3系	8池	8池	8池	—	—
	巾 9.6m×長13.6m×有効深 3.0m	4～6系	24池	12池	12池	—	—
	巾 9.6m×長17.0m×有効深 3.0m	7～9系	56池	—	—	—	—
生物反応槽	巾 6.3m×長57.4m×有効深 6.5m	1-A系	8池	8池	8池	—	—
	巾 10.0m×長93.2m×有効深 6.5m	1-B系	4池	4池	4池	—	—
	巾 9.6m×長87.1m×有効深 6.5m	2系	8池	8池	8池	—	—
	巾 9.4m×長90.5m×有効深 6.5m	3系	8池	8池	8池	—	—
	巾 9.0m×長54.0m×有効深 10.0m	4系	8池	8池	8池	—	—
	巾 9.0m×長54.0m×有効深 8.8m	5～6系	16池	4池	4池	—	—
	巾 8.4m×長67.3m×有効深 6.0m	7～9系	24池	—	—	—	—
最終沈殿池	巾 13.4m×長45.0m×有効深 3.0m	1-A系	4池	4池	4池	—	—
	巾 10.2m×長45.0m×有効深 3.0m	1-B系	4池	4池	4池	—	—
	巾 9.8m×長54.0m×有効深 3.0m	2系	8池	8池	8池	—	—
	巾 9.6m×長55.2m×有効深 3.5m	3系	8池	8池	8池	—	—
	巾 9.6m×長45.2m×有効深 3.5m	4～6系	24池	12池	12池	—	—
	巾 9.0m×長43.7m×有効深 3.5m	7～9系	24池	—	—	—	—
急速濾過池	巾 2.3m×有効長 8.7m	1系	16池	16池	16池	—	—
	巾 4.6m×有効長 7.0m	2～3系	16池	16池	16池	—	—
	巾 3.5m×有効長 7.5m	4～6系	24池	16池	12池	—	—
	巾 3.5m×有効長 6.8m	7～9系	24池	—	—	—	—
送風機設備	多段ターボブロワ 200m <sup>3</sup> /分	1～3系	(1台)		1台	—	—
	多段ターボブロワ 340m <sup>3</sup> /分	1～3系	4台		1台	—	—
	多段ターボブロワ 400m <sup>3</sup> /分	1～3系	1台	2棟	1台	—	—
	多段ターボブロワ 600m <sup>3</sup> /分	1～3系	1台		1台	—	—
	多段ターボブロワ 220m <sup>3</sup> /分	4～6系	5台		3台	—	—
	多段ターボブロワ 250m <sup>3</sup> /分	7～9系	7台		—	—	—
重力濃縮槽	正方形 10.0m×10.0m×有効深3.0m	1系	2槽	2槽	2槽	—	—
	円形有効径 17.4m×有効深3.0m	2～3系	4槽	4槽	3槽	—	—
	円形有効径 10.6m×有効深3.0m	4～6系	3槽	2槽	2槽	—	—
	円形有効径 9.1m×有効深3.0m	7～9系	3槽	—	—	—	—
機械濃縮設備	常圧浮上濃縮 8m <sup>2</sup> /基		1基	1棟	1基		—
	ベルト型ろ過濃縮 30m <sup>2</sup> /基	5～9系	9基		1基		—
脱水設備	スクリュープレス φ 600	1系	3台		3台		—
	スクリュープレス φ 800	2～3系	3台		2台		—
	スクリュープレス φ 800	4～9系	8台		3台		—
焼却溶融設備	汚泥溶融炉 120t/日		2基	2棟	2基		—
	汚泥焼却炉 120t/日		2基		—	—	—
	汚泥焼却炉 100t/日		1基		—	—	—
汚泥炭化設備	汚泥炭化炉 20t/日	1系	1基	—	1基	—	—
放流管渠	◎3.00m～◎2.20m×2		約1,160m	約1,160m (◎2.20m については2条管)	—	—	—

※ ( ) は初期対応施設

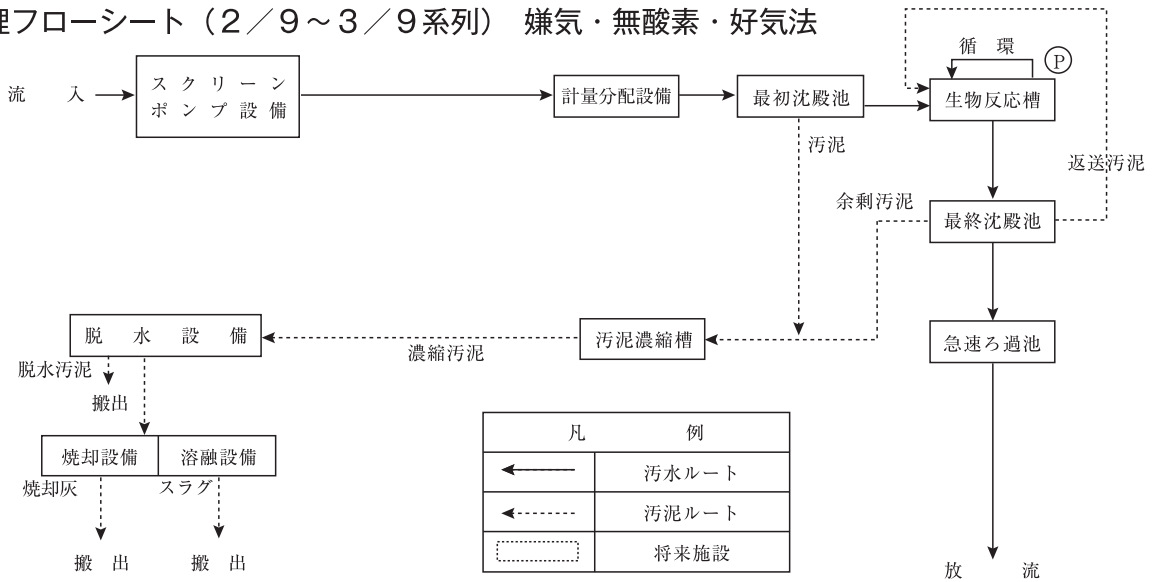
湖南中部浄化センター 一般平面図



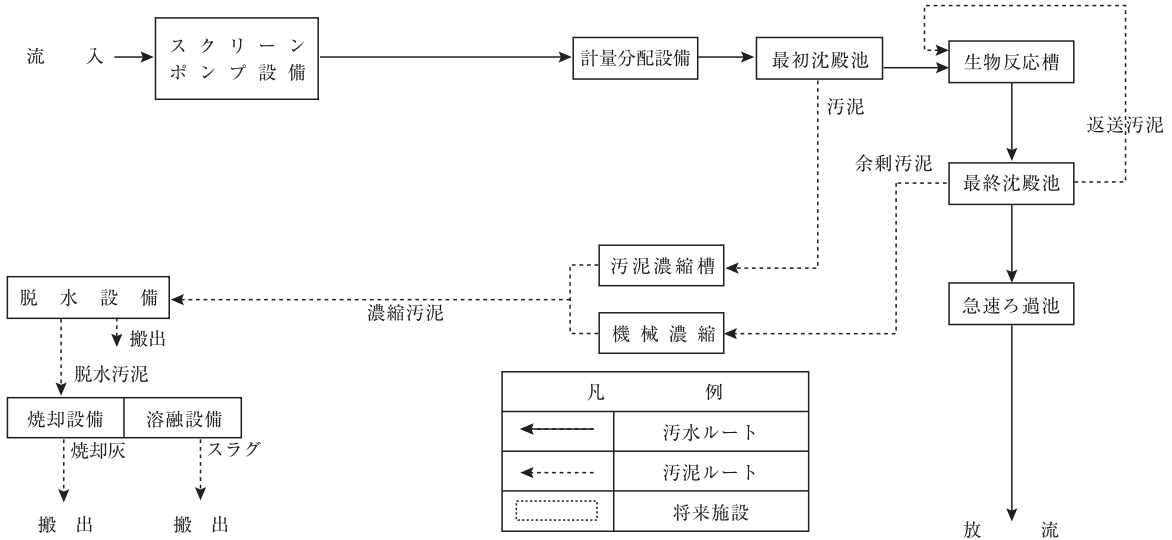
処理フローシート (1 / 9) 循環式硝化脱窒法  
ステップ流入式多段硝化脱窒法



処理フローシート (2 / 9 ~ 3 / 9 系列) 嫌気・無酸素・好気法



処理フローシート (4 / 9 ~ 5 / 9 系列) ステップ流入式多段硝化脱窒法





### (3) 幹線管渠およびポンプ場計画の概要

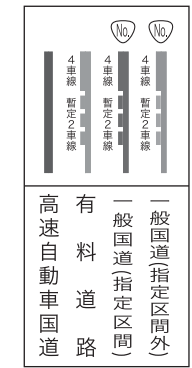
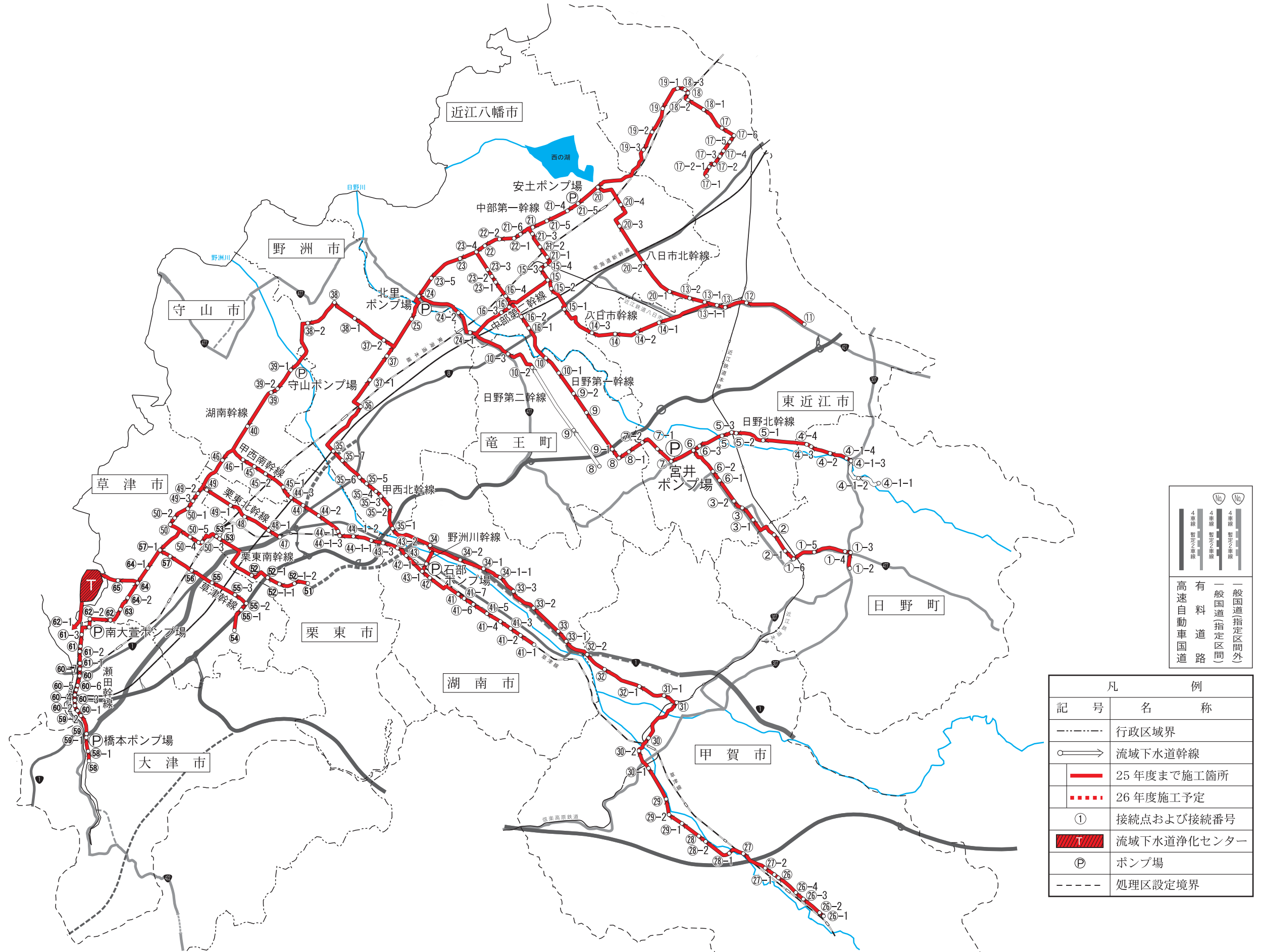
#### 【幹線管渠】

全 体 計 画					事業計画
名 称	位 置		区 域		区 域
	起 点	終 点	管径または幅員	延 長	延 長
湖 南 幹 線	草津市矢橋町字北萱	近江八幡市十王町字里中	◎4.00m～◎2.40m	約21,160m	約21,160m
甲西北幹線	野洲市永原	甲賀市甲賀町上野	◎2.00m～◎0.35m	約36,150m	約36,150m
野洲川幹線	湖南省菩提寺南伊駒	湖南省石部	◎0.80m～◎0.45m×2	約1,020m	約1,020m
甲西南幹線	守山市大門町字新水	湖南省吉永	◎1.65m～◎0.80m	約14,270m	約14,270m
栗東北幹線	草津市駒井沢町字二王堂	栗東市手原字下野台	◎1.20m～◎0.80m	約3,580m	約3,580m
栗東南幹線	草津市野村町字七之坪	栗東市上砥山字砥坪	◎1.35m～◎0.80m	約7,110m	約7,110m
草 津 幹 線	草津市木ノ川町字樋須	草津市岡本町字山田	◎1.10m～◎1.00m	約5,130m	約5,130m
瀬 田 幹 線	草津市矢橋町字名林	大津市稲津一丁目	◎1.65m～◎0.40m	約8,680m	約8,680m
中部第一幹線	近江八幡市十王町字里中	東近江市五個荘金堂町	◎1.80m～◎0.45m	約19,370m	約19,370m
中部第二幹線	近江八幡市十王町字里中	近江八幡市上田町字法師子	◎1.35m～◎1.10m	約6,570m	約6,570m
日野第一幹線	近江八幡市大房町字海道	日野町大字松尾字佃	◎1.35m～◎0.50m	約22,640m	約22,640m
日野第二幹線	近江八幡市安養寺町保ノ上	蒲生郡竜王町大字山之上	◎1.00m～◎0.60m	約7,590m	約2,890m
日野北幹線	東近江市上南町浅香	日野町大字佐久良字落合	◎1.35m～◎0.25m	約8,300m	約7,420m
八日市幹線	近江八幡市音羽町	東近江市小脇町字永	◎0.90+0.80m～◎0.90m	約10,730m	約10,730m
八日市北幹線	安土町大字下豊浦字十七	東近江市札の辻二丁目字奥山	◎1.00m～◎0.70m	約11,230m	約11,230m
計			15幹線	約183,530m	約177,950m

#### 【ポンプ場】

名 称	位 置	敷地面積	計画汚水量 (時間最大)
守山ポンプ場	守山市川田町1217番 (公有財産表) 守山市川田町1222番 (住宅地図)	約7,070m <sup>2</sup>	約282.5m <sup>3</sup> /分
南大萱ポンプ場	大津市大萱七丁目3249番2 (公有財産表) 大津市大萱七丁目2番 (住宅地図)	約1,968m <sup>2</sup>	約41.2m <sup>3</sup> /分
橋本ポンプ場	大津市瀬田五丁目31番8 (公有財産表)	約710m <sup>2</sup>	約10.7m <sup>3</sup> /分
安土ポンプ場	近江八幡市安土町大字香之庄320番2 (公有財産表)	約2,544m <sup>2</sup>	約49.0m <sup>3</sup> /分
北里ポンプ場	近江八幡市十王町452番 (公有財産表)	約4,000m <sup>2</sup>	約156.8m <sup>3</sup> /分
宮井ポンプ場	東近江市宮井町地先 (公有財産表)	約670m <sup>2</sup>	約18.4m <sup>3</sup> /分
石部ポンプ場	湖南省石部北一丁目2番1号 (決定通知書)	約690m <sup>2</sup>	約0.8m <sup>3</sup> /分

湖南中部処理区幹線管渠およびポンプ場



凡 例	
記号	名称
-----	行政区境界
→	流域下水道幹線
<span style="background-color: red; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 20px; height: 5px;"></span>	25年度まで施工箇所
<span style="background-color: red; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 20px; height: 5px; opacity: 0.5;"></span>	26年度施工予定
①	接続点および接続番号
<span style="background-color: red; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 20px; height: 10px; text-align: center; vertical-align: middle;">T</span>	流域下水道浄化センター
Ⓔ	ポンプ場
- - - - -	処理区設定境界

#### (4) 整備状況と平成26年度事業計画

##### 【幹線管渠】

(総括)

(km)

年 度	延	長
		累 計
S52	2.5	16.9
53	2.7	19.6
54	3.8	23.4
55	4.3	27.7
56	5.5	33.2
57	3.2	36.4
58	2.4	38.8
59	5.0	43.8
60	6.7	50.5
61	9.2	59.7
62	10.7	70.4
63	6.9	77.3
H元	6.7	84.0
2	7.2	91.2
3	7.3	98.5
4	6.4	104.9
5	6.8	111.7
6	4.3	116.0
7	5.6	121.6
8	5.4	127.0
9	11.2	138.2
10	7.0	145.2
11	4.2	149.4
12	3.4	152.8
13	5.0	157.8
14	2.9	160.7
15	3.7	164.4
16	3.7	168.1
17	3.4	171.5
18	2.7	174.2
19	1.4	175.6
20	0.0	175.6
21	0.4	176.0
22	0.6	176.6
23	0.0	176.6
24	0.0	176.6
25	0.0	176.6
26(予定)	0.0	176.6
全体計画延長		183.5

(幹線別内訳)

(km)

幹線名	H25年度末	H26年度(予定)	計	備 考
湖 南 幹 線	21.2 (21.2)	—	21.2	S58年度完結
瀬 田 幹 線	8.7 (8.7)	—	8.7	H11年度完結
草 津 幹 線	5.1 (5.1)	—	5.1	S58年度完結
甲 西 北 幹 線	36.2 (36.2)	—	36.2	H12年度完結
甲 西 南 幹 線	14.3 (14.3)	—	14.3	H19年度完結
野 洲 川 幹 線	1.0 (1.0)	—	1.0	H3年度完結
栗 東 南 幹 線	7.1 (7.1)	—	7.1	H13年度完結
栗 東 北 幹 線	3.1 (3.1)	—	3.1	
中 部 第 一 幹 線	19.4 (19.4)	—	19.4	H10年度完結
中 部 第 二 幹 線	6.6 (6.6)	—	6.6	H18年度完結
八 日 市 北 幹 線	11.2 (11.2)	—	11.2	
八 日 市 幹 線	10.7 (10.7)	—	10.7	H10年度完結
日 野 第 一 幹 線	22.6 (22.6)	—	22.6	H21年度完結
日 野 第 二 幹 線	2.9 (2.9)	0.0	2.9	
日 野 北 幹 線	6.5 (6.5)	—	6.5	
計	176.6 (176.6)	0.0	176.6	

※ ( ) 外の数字は完成換算延長であり、( ) 内は平成26年4月1日現在の供用済管渠延長である。

##### 【ポンプ場】

名 称	平成25年度末の状況 (予備機を含む)	平成26年度の計画
守 山 ポ ン プ 場	昭和59年11月通水、現有能力 241m <sup>3</sup> /分	
南 大 萱 ポ ン プ 場	昭和58年10月通水、現有能力 123m <sup>3</sup> /分	
橋 本 ポ ン プ 場	平成元年3月通水、現有能力 15.6m <sup>3</sup> /分	
安 土 ポ ン プ 場	平成元年4月通水、現有能力 55.8m <sup>3</sup> /分	
北 里 ポ ン プ 場	昭和61年4月通水、現有能力 150m <sup>3</sup> /分	
宮 井 ポ ン プ 場	平成6年4月通水、現有能力 16.0m <sup>3</sup> /分	
石 部 ポ ン プ 場	平成4年8月通水、現有能力 13.4m <sup>3</sup> /分	

## 4. 湖西処理区

湖西処理区については、昭和51年11月16日から昭和52年3月26日にかけて環境影響調査を実施し、同年7月に同処理区の県方針を決定した後、昭和53年1月20日に都市計画決定を行い、さらに、同年3月3日に下水道法、同年3月13日に都市計画法の事業認可を受けて事業に着手しました。

管渠については、全延長約15.7kmが完了しています。浄化センターについても、昭和54年11月の基本設計に引続き、昭和55年度には実施設計を行うとともに水処理施設の建設工事に着手し、昭和59年11月に処理能力5,000m<sup>3</sup>/日で供用開始しました。その後流入水量の増加に伴い順次増設を行い、平成26年4月1日現在52,500m<sup>3</sup>/日の処理能力を有しています。

なお供用区域は大津市の一部です。

### (1) 湖西浄化センターの概要

項 目		内 容					備 考	
位置(公有財産表による)		大津市苗鹿三丁目および木の岡町地先						
処 理 場 面 積		約 10.7ha						
下 水 排 除 方 式		分流式						
処 理 方 法		凝集剤添加循環式硝化脱窒法+砂濾過法					1系3~6号池 2系1,2号池	
		凝集剤添加ステップ流入式多段硝化脱窒法+砂濾過法					1系1,2号池 2系3号池	
処理水量(日最大)		全体計画	約67,500m <sup>3</sup> /日					
		H25年度末現在	52,500m <sup>3</sup> /日					
処 理 区 域 面 積		全体計画	約3429ha					
		H25年度末現在	2,207.8ha					
処 理 対 象 人 口		全体計画	約122,400人					
		H25年度末現在	114,788人					
処 理 状 況	区 分	BOD (mg/l)	COD (mg/l)	SS (mg/l)	T-N (mg/l)	T-P (mg/l)		
	H25年度流入水質		160	82.6	153	27.4	3.01	
	放 流 水 質	排水基準値	20	20	70	15	0.5	日間平均値
		基準値	4.8	20	40	(※)5,10	0.25	
		目標値	4.8	10	6	(※)5,10	0.25	
H25年度実績		N.D.	4.6	N.D.	3.2	0.04	年平均値	

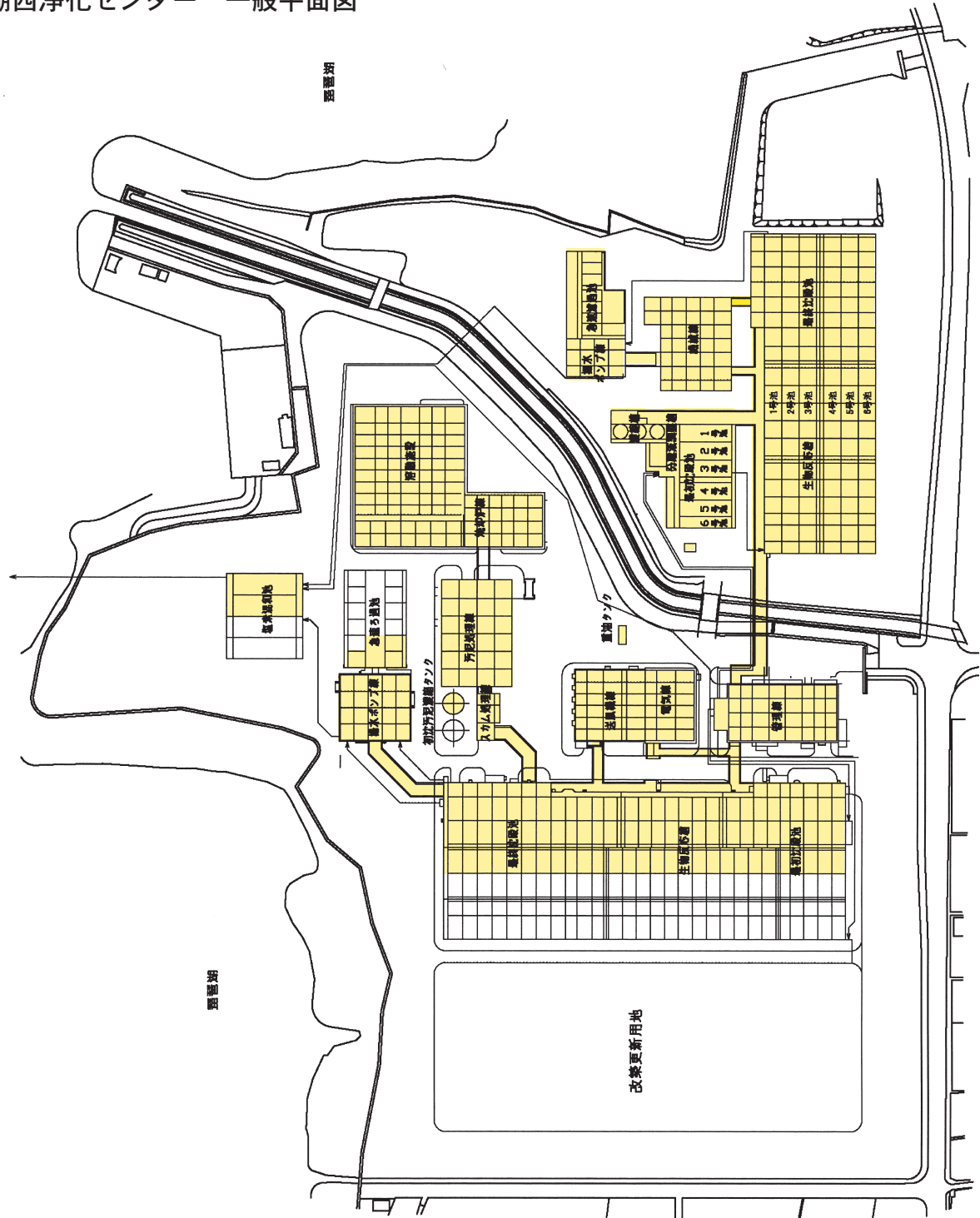
- ・排水基準値とは、水質汚濁防止法第3条等によって定められている基準値である。
- ・基準値とは、下水道法第8条によって定められる技術上の基準値である。
- ・目標値とは、維持管理上の自主基準値である。
- ・実績値は、上記の両処理方法を併用して処理した放流水質の平均値である。
- ・N.D.とは「検出せず」のことで、定量限界未満をいう。
- ・(※)5mg/lは、凝集剤添加多段硝化脱窒法+砂濾過法の基準値、10mg/lは、凝集剤添加循環式硝化脱窒法+砂濾過法の基準値である。

## (2) 施設計画の概要

施設名称	形 式 ・ 寸 法	系 列	全体 計画	平成25年度未整備量		平成26年度未整備予定	
				土木・建築	機械・電気	土木・建築	機械・電気
スクリーン	巾 1.7m		4水路	4水路	3水路	—	—
主ポンプ設備	横軸ポンプ φ 200		1台	1棟	1台	—	—
	立軸渦巻斜流ポンプ φ 250		1台		1台	—	—
	立軸渦巻斜流ポンプ φ 350		2台		2台	—	—
	立軸渦巻斜流ポンプ φ 600		2台		2台	—	—
最初沈殿池	巾 7.0m×長21.0m×有効深 3.0m	1系	6池	6池	6池	—	—
	巾 9.6m×長16.5m×有効深 3.0m	2系	5池	4池	3池	—	—
生物反応槽	巾 6.9m×長84.0m×有効深 6.0m	1系	6池	6池	6池	—	—
	巾 9.4m×長72.9m×有効深 7.6m	2系	2池	2池	2池	—	—
	巾 9.4m×長68.8m×有効深 7.6m	2系	3池	2池	1池	—	—
最終沈殿池	巾 7.0m×長37.0m×有効深 3.0m	1系	6池	6池	6池	—	—
	巾 7.0m×長41.9m×有効深 3.0m	1系	2池	—	—	—	—
	巾 9.6m×長54.5m×有効深 3.5m	2系	5池	4池	3池	—	—
急速濾過池	巾 3.0m× 有効長 8.4m	1系	7池	7池	7池	—	—
	巾 4.8m× 有効長 6.5m	2系	5池	4池	3池	—	—
塩素混和池	巾 2.6m×長81.0m×有効深 1.5m		2池	2池	—	—	—
送風機設備	多段ターボブロワ 50m <sup>3</sup> /分	1系	0台	2棟	2台	—	—
	多段ターボブロワ 110m <sup>3</sup> /分	1系	0台		1台	—	—
	多段ターボブロワ 120m <sup>3</sup> /分	1系	3台		1台	—	—
	多段ターボブロワ 150m <sup>3</sup> /分	2系	3台		2台	—	—
重力濃縮槽	円形有効径 7.1m×有効深 3.5m	1系	2槽	2槽	2槽	—	—
	円形有効径 9.6m×有効深 3.5m	1～2系	2槽	1槽	1槽	—	—
機械濃縮設備	遠心濃縮機 40m <sup>3</sup> /時		2台	—	2台	—	—
脱水設備	ベルトプレス 3m	1～2系	3台	1棟	2台	—	—
焼却溶融設	50 t/日		0基	1棟	1基	—	—
燃料化施設	80 t/日		1基	—	—	—	—
放流管渠	◎ 1.50m		約500m	約500m	—	—	—

※ ( ) は初期対応施設

湖西浄化センター 一般平面図

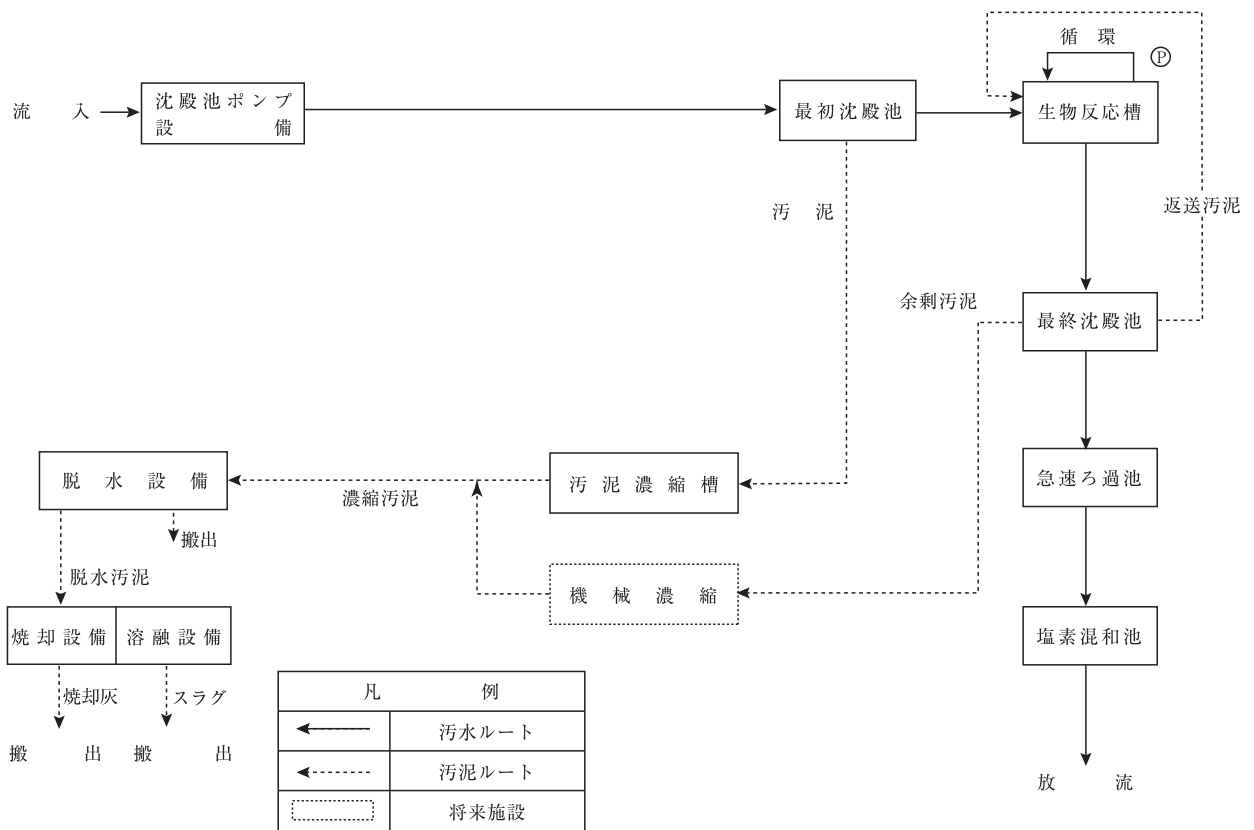


凡例

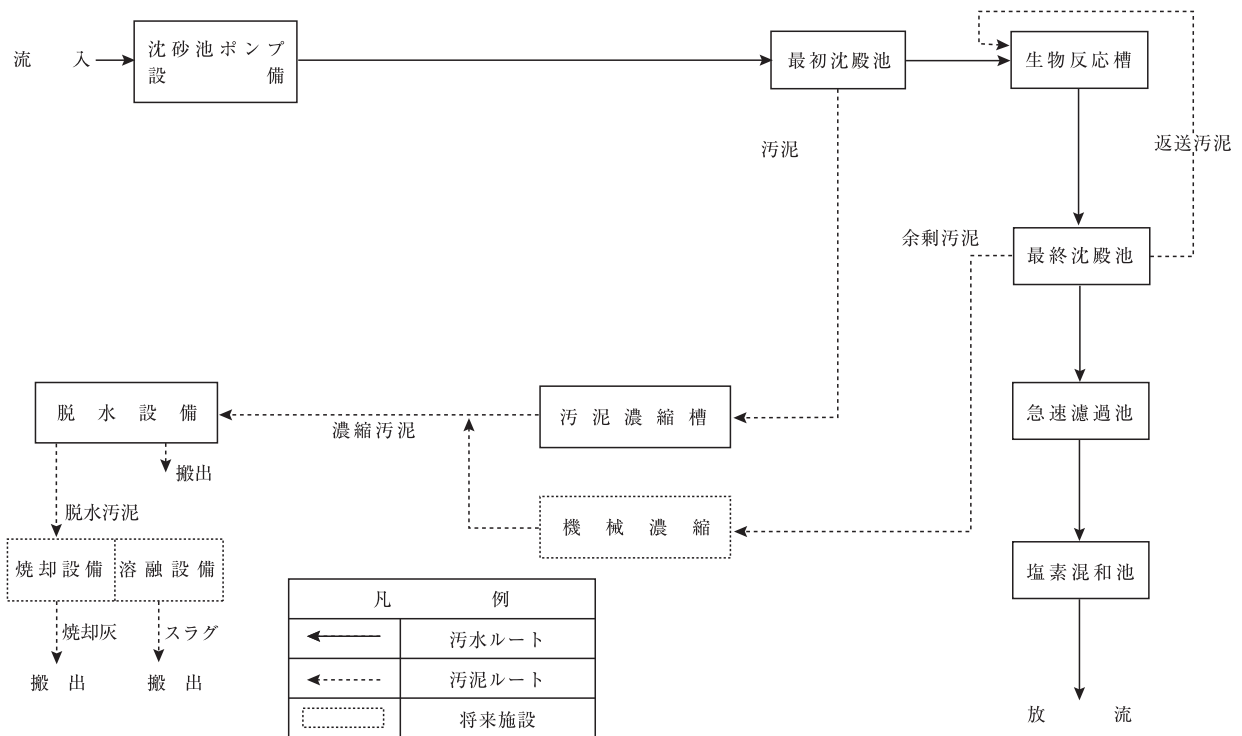
既設

(H26.4.1現在)

処理フローシート（1系3～6号池、2系1～2号池）循環式硝化脱窒法



処理フローシート（1系1～2号池、2系3号池）ステップ流入式多段硝化脱窒法



### (3) 幹線管渠およびポンプ場計画の概要

#### 【幹線管渠】

全 体 計 画					事業計画
名 称	位 置		区 域		区 域
	起 点	終 点	管径または幅員	延 長	延 長
湖西北幹線	大津市苗鹿三丁目 字八反田	大津市木戸字後	◎0.8m~◎1.80m (一部◎0.3m×2)	約14,800m	約14,800m
湖西南幹線	”	大津市比叡辻二丁 目字車塚	◎1.50m	約 960m	約 960m
計			2幹線	約15,760m	約15,760m

#### 【ポンプ場】

名 称	位 置	敷地面積	計画汚水量 (時間最大)
衣川ポンプ場	大津市衣川一丁目1223番5	約536m <sup>2</sup>	約36.0m <sup>3</sup> /分
清水ポンプ場	大津市清水町21番2	約645m <sup>2</sup>	約11.5m <sup>3</sup> /分
木戸ポンプ場	大津市木戸847番7	約430m <sup>2</sup>	約3.0m <sup>3</sup> /分

※財産台帳面積



# 湖西処理区幹線暗渠およびポンプ場



	4車線		No. 4車線
	4車線 暫定2車線		暫定2車線
	4車線 暫定2車線		暫定2車線
	4車線 暫定2車線		暫定2車線

	高速自動車国道
	有料道路
	一般国道(指定区間)
	一般国道(指定区間外)

凡 例	
記 号	名 称
	行政区域界
	流域下水道幹線
	25年度まで施工箇所
	26年度施工予定
①	接続点および接続番号
	流域下水道浄化センター
P	ポンプ場
	処理区設定境界

(4) 整備状況と平成26年度事業計画

【管渠】

(総括)

(km)

年 度	延	長
		累 計
S53	0.3	0.3
54	0.3	0.6
55	0.5	1.1
56	0.8	1.9
57	0.7	2.6
58	1.4	4.0
59	1.2	5.2
60	2.2	7.4
61	1.0	8.4
62	0.2	8.6
63	0.9	9.5
H元	1.5	11.0
2	1.1	12.1
3	1.6	13.7
4	2.0	15.7
5	—	15.7
6	—	15.7
7	—	15.7
8	—	15.7
9	—	15.7
10	—	15.7
11	—	15.7
12	(1.0)	15.7
13	(0.8)	15.7
全体計画延長		15.7

( ) 内の数字は、圧送管路部の2条管目である。

(幹線別内訳)

(km)

幹線名	H25年度末	H26年度(予定)	計	備 考
湖 西 北 幹 線	14.7	—	14.7	H13年度完結
湖 西 南 幹 線	1.0	—	1.0	S58年度完結
計	15.7	—	15.7	

【ポンプ場】

名 称	平成25年度末の状況 (予備機を含む)	平成26年度の計画
衣 川 ポ ン プ 場	昭和61年12月通水、現有能力 96.0m <sup>3</sup> /分	
清 水 ポ ン プ 場	昭和62年4月通水、現有能力 34.5m <sup>3</sup> /分	
木 戸 ポ ン プ 場	平成5年4月通水、現有能力 13.2m <sup>3</sup> /分	

## 5. 東北部処理区

当処理区は、琵琶湖流域下水道4処理区のなかで湖南中部処理区に次ぐ規模のものであり、彦根市、長浜市を中心とする東北部地域の4市4町を対象にしています。

昭和48年8月に浄化センター設置委員会を設け、位置の検討を行い、昭和51年7月20日から同年12月8日にかけて環境影響調査を実施しました。

この間、浄化センター地元関係住民、彦根市、米原市と折衝を重ね、昭和55年2月29日に県都市計画地方審議会の同意を得て同年3月27日に都市計画決定を行い、その後、昭和56年8月7日には市街化区の見直し変更に伴う計画決定の変更を行うとともに、昭和57年2月23日に都市計画法の事業認可を、さらに同年5月25日に下水道法による事業認可を得ました。

昭和60年度までに、処理場用地の買収をほぼ完了し、昭和61年度から処理場敷地造成工事に着手し、平成3年4月に処理能力5,200m<sup>3</sup>/日で供用開始しました。平成26年4月1日現在、彦根市、長浜市をはじめとする3市4町で供用しており、処理施設は120,750m<sup>3</sup>/日の処理能力を有しています。また、処理区域の拡大をはかるべく、幹線管渠工事の延伸を行っています。

### (1) 東北部浄化センターの概要

項 目		内 容					備 考	
位置(公有財産表による)		彦根市松原町および米原市磯地先						
処 理 場 面 積		約 46.7ha						
下 水 排 除 方 式		分流式						
処 理 方 法		凝集剤添加ステップ流入式多段硝化脱窒法+砂濾過法						
処理水量(日最大)		全体計画	約205,800m <sup>3</sup> /日					
		H25年度末現在	120,750m <sup>3</sup> /日					
処 理 区 域 面 積		全体計画	約13,994.3ha					
		H25年度末現在	9,284.5ha					
処 理 対 象 人 口		全体計画	約344,890人			観光人口を 含まない		
		H25年度末現在	262,732人					
処 理 状 況	区 分	BOD (mg/l)	COD (mg/l)	SS (mg/l)	T-N (mg/l)	T-P (mg/l)		
	H25年度流入水質	110	66.3	120	25.1	2.40		
	放 流 水 質	排水基準値	20	20	70	15	0.5	日間平均値
		基準値	4.8	20	40	5	0.25	
		目標値	1.3	6.3	1.5	3	0.08	
H25年度実績	N.D.	5.2	N.D.	1.7	0.06	年平均値		

・排水基準値とは、水質汚濁防止法第3条等によって定められている基準値である。

・基準値とは、下水道法第8条によって定められる技術上の基準値である。

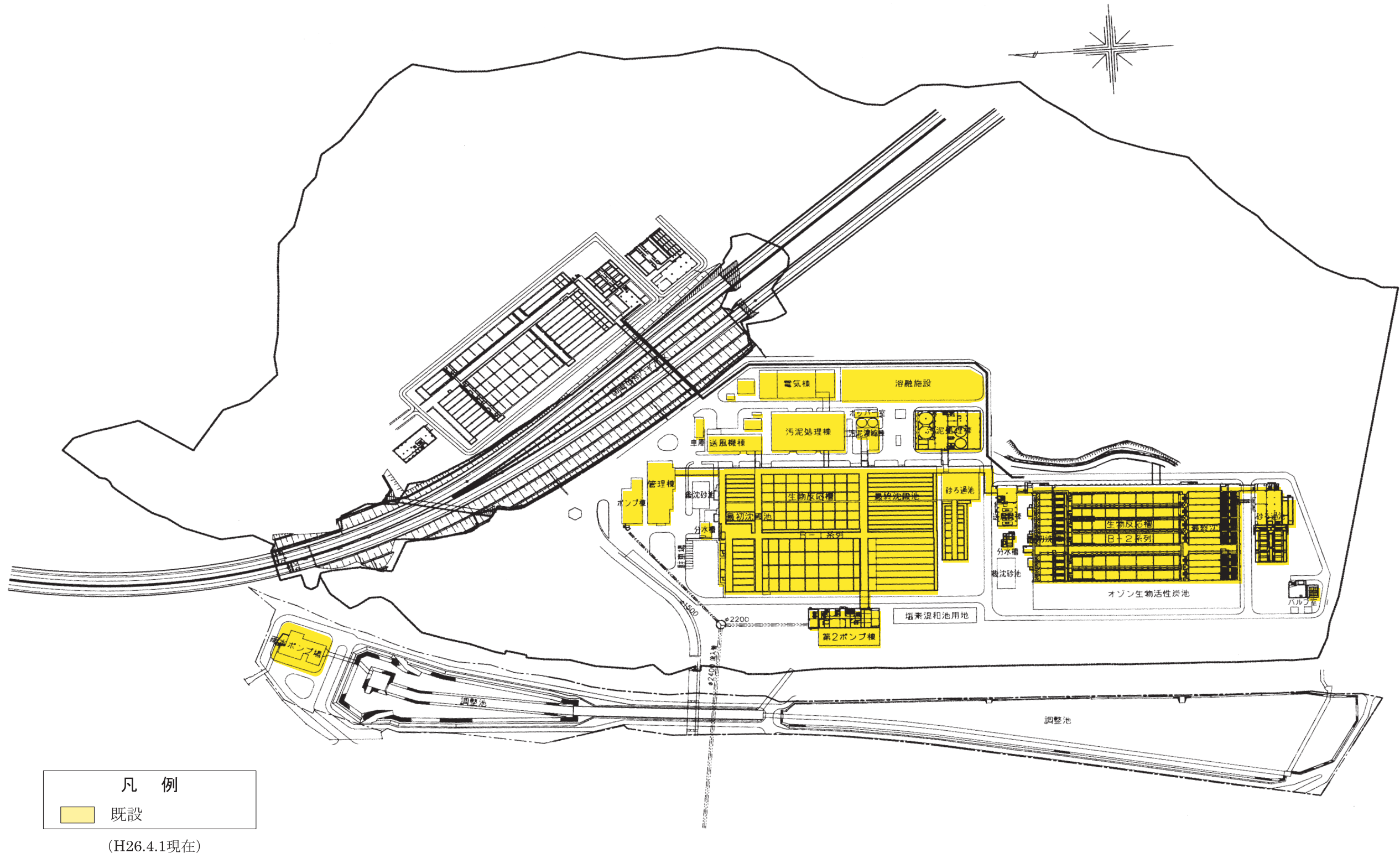
・目標値とは、維持管理上の自主基準値である。

・N.D.とは「検出せず」のことで、定量限界未満をいう。

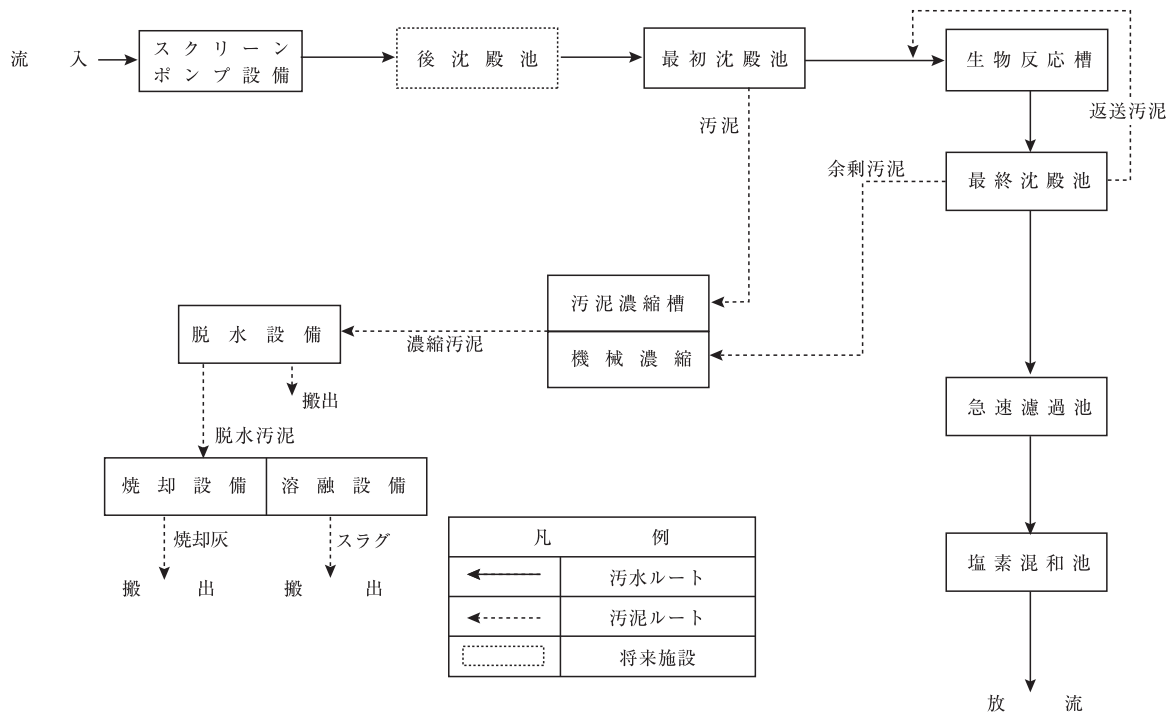
## (2) 施設計画の概要

施設名称	形 式 ・ 寸 法	系 列	全体 計画	平成25年度末整備量		平成26年度末整備予定	
				土木・建築	機械・電気	土木・建築	機械・電気
スクリーン	巾 1.5m		10台	7水路	4水路	—	—
主ポンプ設備	立軸渦巻斜流ポンプ φ 450		4台	2棟	4台	—	—
	立軸渦巻斜流ポンプ φ 350		2台		2台	—	—
	立軸渦巻斜流ポンプ φ 450		2台		—	—	—
	立軸渦巻斜流ポンプ φ 500		2台		2台	—	—
	立軸渦巻斜流ポンプ φ 600		2台		—	—	—
	立軸渦巻斜流ポンプ φ 700		0台		—	—	—
後沈砂池	巾 2.50m×長12.0m×有効深 1.0m		2池	—	—	—	—
	巾 2.50m×長10.5m×有効深 1.0m		2池	—	—	—	—
	巾 2.50m×長14.0m×有効深 1.0m		2池	—	—	—	—
最終沈殿池	巾 7.1m×長22.0m×有効深 3.0m	B-1系	5池	5池	5池	—	—
	巾 10.9m×長16.0m×有効深 3.0m	B-1系	4池	4池	4池	—	—
	巾 11.0m×長18.5m×有効深 3.0m	B-2系	6池	6池	6池	—	—
	巾 9.4m×長23.0m×有効深 3.0m	A-3系	8池	—	—	—	—
生物反応槽	巾 7.5m×長72.0m×有効深 6.0m	B-1系	6池	6池	6池	—	—
	巾 11.3m×長72.0m×有効深 6.0m	B-1系	4池	4池	4池	—	—
	巾 11.3m×長79.7m×有効深 6.0m	B-2系	6池	6池	6池	—	—
	巾 9.8m×長63.0m×有効深10.0m	A-3系	8池	—	—	—	—
最終沈殿池	巾 7.1m×長51.0m×有効深 3.0m	B-1系	3池	3池	3池	—	—
	巾 7.1m×長51.0m×有効深 3.5m	B-1系	3池	3池	3池	—	—
	巾 10.9m×長51.0m×有効深 3.5m	B-1系	4池	4池	4池	—	—
	巾 10.8m×長30.0m×有効深 3.5m	B-2系	6池	6池	6池	—	—
	巾 9.4m×長35.0m×有効深 3.5m	A-3系	8池	—	—	—	—
砂ろ過池	巾 4.7m×長2.2m	B-1系	8池	8池	8池	—	—
	巾 4.7m×長4.3m	B-1系	10池	10池	10池	—	—
	巾 6.0m×長6.7m	B-2系	6池	6池	6池	—	—
	巾 6.5m×長6.6m	A-3系	8池	—	—	—	—
塩素混和池	巾 5.0m×長140.0m×有効深1.8m	1池	—	—	—	—	—
送風機設備	多段ターボブロワ 40m <sup>3</sup> /分	B-1系	2台	2棟	2台	—	—
	多段ターボブロワ 80m <sup>3</sup> /分	B-1,2系	7台		7台	—	—
	多段ターボブロワ 110m <sup>3</sup> /分	A-3系	5台		—	—	—
重力濃縮槽	円形有効径 8.0m×有効深3.0m	B-1系	2槽	2棟	2槽	—	—
	円形有効径 11.0m×有効深3.5m	B-2,A-3系	2槽		2槽	1槽	—
機械濃縮設備	遠心濃縮機 20m <sup>3</sup> /時	B-1系	2台	2棟	2台	—	—
	常圧浮上濃縮 6m <sup>2</sup> /基	B-2,A-3系	4台		2台	—	—
脱水設備	フィルタープレス 150m <sup>2</sup>	B-1系	0台	2棟	1台	—	—
	スクリュープレス φ 700	B-1系	3台		2台	—	—
	スクリュープレス φ 700	B-2,A-3系	4台		3台	—	—
汚泥熔融設備	80t/日	B,A-3系	1基	1棟	1基	—	—
	汚泥熔融炉 110t/日		1基				
放流管渠	◎1.80m		1,300m (1条)	—	—	—	—

東北部浄化センター配置図



# 処理フローシート ステップ流入式多段硝化脱窒法



### (3) 幹線管渠およびポンプ場計画の概要

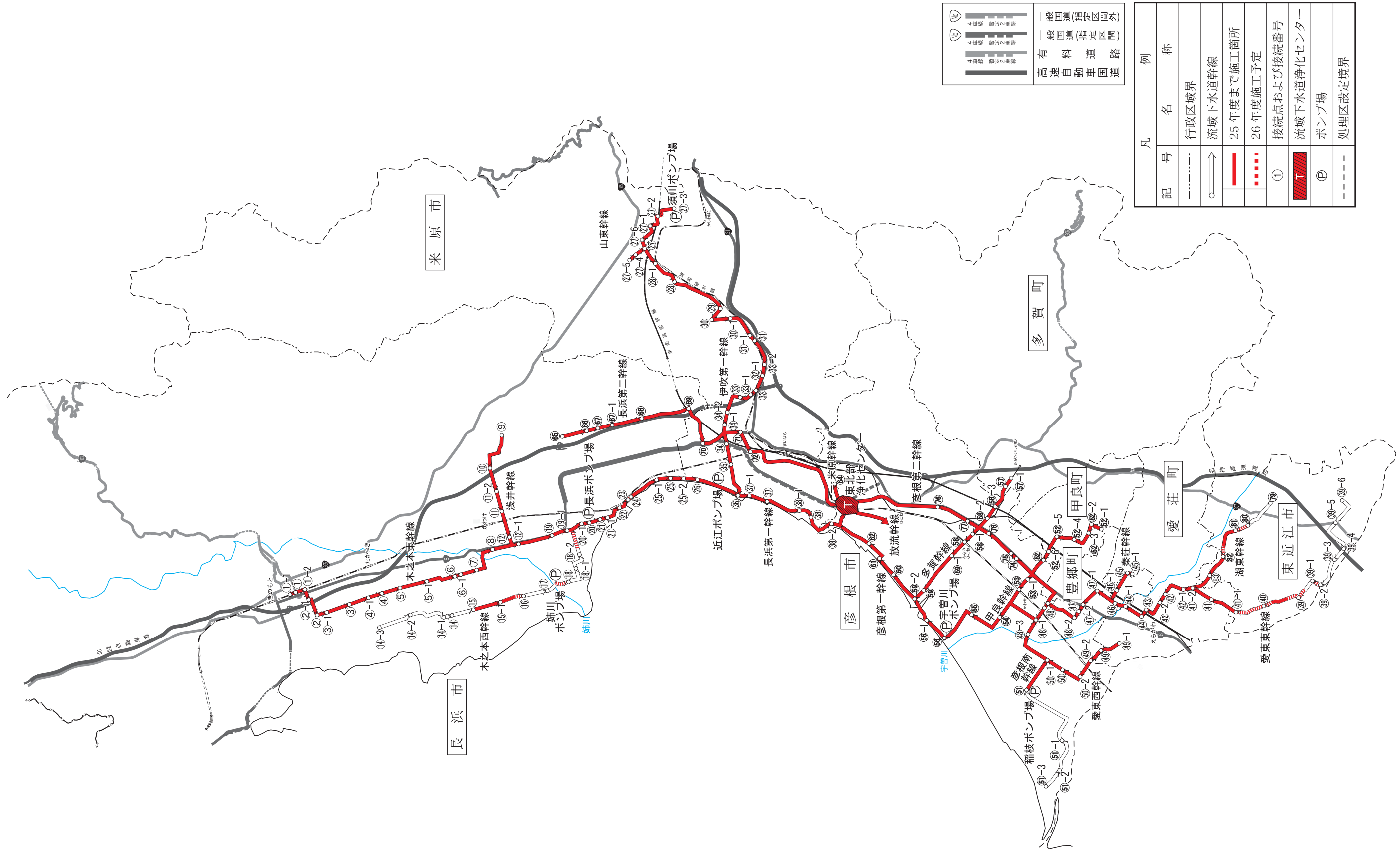
#### 【幹線管渠】

名 称	全 体 計 画				事業計画
	位 置		区 域		区 域
	起 点	終 点	管径または幅員	延 長	延 長
木之本東幹線	長浜市相撲町字郷地	長浜市木之本町大字広瀬字八ツ柳	◎1.35m～◎0.45m	約14,330m	約14,330m
木之本西幹線	長浜市相撲町字十四	長浜市高月町字西柳野	◎0.80m～◎0.20m	約11,280m	約7,020m
浅井幹線	虎姫町大字酢字佃	長浜市大路町梅ノ木	◎1.35m～◎0.80m	約5,030m	約5,030m
長浜第一幹線	彦根市松原町字指合	長浜市相撲町字郷地	◎2.40m～◎1.35m	約13,060m	約13,060m
長浜第二幹線	彦根市松原町字指合	長浜市加納町字下五反田	◎1.35m～◎1.20m	約14,990m	約14,990m
伊吹第一幹線	米原市世継字中瀬	米原市高番字大沢	◎1.35m～◎0.60m	約15,700m	約15,700m
山 東 幹 線	米原市村木字宮西	米原市大野木字切田	◎0.70m～◎0.30m	約2,800m	約2,800m
愛東東幹線	彦根市須越町字徳神	東近江市曾根町	◎1.35m～◎0.25m	約26,690m	約20,390m
愛東西幹線	彦根市賀田山町字狭間	愛荘町川原字中川	◎1.35m～◎0.20m	約6,110m	約6,110m
湖 東 幹 線	愛荘町栗田字深草	東近江市中里町	◎1.00m～◎0.25m	約5,310m	約3,860m
彦根南幹線	彦根市金沢町あみだ堂	彦根市新海町	◎0.25m～0.15m	約7,150m	約1,510m
秦 荘 幹 線	豊郷町大字下枝字里央	愛荘町目加田馬場	◎0.80m	約1,410m	約1,410m
甲 良 幹 線	彦根市川瀬馬場町字石住	甲良町大字下之郷字野神	◎1.35m～◎0.50m	約6,000m	約6,000m
多 賀 幹 線	彦根市八坂町字頭無	多賀町大字土田字竹ノ越	◎1.20m～◎1.00m	約6,600m	約6,600m
彦根第一幹線	彦根市松原町字網代口	彦根市須越町字徳神	◎1.80m～◎1.35m	約7,230m	約7,230m
彦根第二幹線	彦根市松原町字指合	彦根市楡町字井ノ口	◎1.35m	約11,000m	約11,000m
米 原 幹 線	彦根市松原町字指合	彦根市宮田町字神田	□1.70m×2.00m～◎0.80m	約1,090m	約1,090m
計			17幹線	約155,780m	約138,130m
放 流 幹 線	彦根市松原町字石持	彦根市松原町字大洞	◎1.80m×2	約1,300m	約1,300m
合 計			18幹線	約157,080m	約139,430m

#### 【ポンプ場】

名 称	位 置	敷地面積	計画汚水量 (時間最大)
姉川中継ポンプ場	長浜市川道町早上り	約930m <sup>2</sup>	約3.9m <sup>3</sup> /分
近江中継ポンプ場	米原市世継字寺川	約2,600m <sup>2</sup>	約76.2m <sup>3</sup> /分
長浜中継ポンプ場	長浜市相撲町地先	約2,580m <sup>2</sup>	約41.2m <sup>3</sup> /分
宇曾川中継ポンプ場	彦根市須越町地先	約1,890m <sup>2</sup>	約31.7m <sup>3</sup> /分
稲枝中継ポンプ場	彦根市下岡部町字沢	約540m <sup>2</sup>	約3.3m <sup>3</sup> /分
須川中継ポンプ場	米原市大野木字切田	約700m <sup>2</sup>	約1.6m <sup>3</sup> /分

東北部処理区幹線管渠およびポンプ場



(No. 167)	一般国道指定区間外
(No. 16)	一般国道指定区間
(No. 16)	有料道路
(No. 16)	高速自動車国道

凡	例	名称
---	---	行政区域界
→	→	流域下水道幹線
○	○	25年度まで施工箇所
■	■	26年度施工予定
①	①	接続点および接続番号
■	■	流域下水道浄化センター
P	P	ポンプ場
---	---	処理区設定境界



#### (4) 整備状況と平成26年度事業計画

##### 【管渠】

(総括)

(km)

年 度	延	長
		累 計
S60	0.1	0.1
61	1.0	1.1
62	3.6	4.7
63	6.3	11.0
H元	6.7	17.7
2	5.1	22.8
3	4.8	27.6
4	6.5	34.1
5	9.3	43.4
6	5.0	48.4
7	6.8	55.2
8	7.6	62.8
9	10.5	73.3
10	10.0	83.3
11	8.6	91.9
12	5.4	97.3
13	3.3	100.6
14	1.9	102.5
15	2.5	105.0
16	2.0	107.0
17	3.3	110.3
18	3.8	114.1
19	2.3	116.4
20	2.7	119.1
21	1.3	120.4
22	1.6	122.0
23	2.2	124.2
24	2.6	126.8
25	1.9	128.7
26(予定)	2.0	130.7
全体計画延長		157.1

(幹線別内訳)

(km)

幹線名	H25年度末	H26年度(予定)	計	備 考
彦根第一幹線	7.2 (7.2)	—	7.2	H5年度完結
彦根第二幹線	10.8 (10.8)	—	10.8	H23年度完結
長浜第一幹線	13.1 (13.1)	—	13.1	H3年度完結
長浜第二幹線	15.0 (15.0)	—	15.0	H22年度完結
多賀幹線	6.6 (6.6)	—	6.6	H6年度完結
木之本東幹線	14.3 (14.3)	—	14.3	H12年度完結
木之本西幹線	1.7 (0)	1.2	2.9	
浅井幹線	5.0 (5.0)	—	5.0	H9年度完結
米原幹線	1.1 (1.1)	—	1.1	H6年度完結
伊吹第一幹線	15.7 (15.7)	—	15.7	H12年度完結
山東東幹線	2.8 (2.8)	—	2.8	H12年度完結
愛東東幹線	17.7 (14.6)	0.8	18.5	
愛東西幹線	6.1 (6.1)	—	6.1	H21年度完結
彦根南幹線	1.5 (1.5)	—	1.5	
甲良幹線	6.0 (6.0)	—	6.0	H12年度完結
秦荘幹線	1.4 (1.4)	—	1.4	H7年度完結
湖東幹線	2.8 (0)	1.0	3.8	
計	128.8 (121.2)	2.0	131.8	

数字は完成換算延長であり、( )内は平成26年4月1日現在の供用済管渠延長である。

##### 【ポンプ場】

名 称	平成25年度末の状況 (予備機を含む)	平成26年度の計画
姉川中継ポンプ場	土木・建築工事着手	土木・建築工事
近江中継ポンプ場	平成4年11月通水、現有能力110m <sup>3</sup> /分	
長浜中継ポンプ場	平成8年4月通水、現有能力66.4m <sup>3</sup> /分	
宇曾川中継ポンプ場	平成9年4月通水、現有能力35m <sup>3</sup> /分	
稲枝中継ポンプ場	未着手	
須川中継ポンプ場	平成13年4月通水、現有能力4.8m <sup>3</sup> /分	

## 6. 高島処理区

高島地域では、昭和54年度に、基本計画策定のための基礎調査を実施し、その結果を踏まえて地元町村と協議をし、マキノ町、今津町、新旭町、安曇川町および高島町の5町を対象として流域下水道整備を行うこととなりました。

これを受けて、昭和62年度に基本計画の策定を行い、さらに昭和62年6月から平成元年度末まで環境影響調査を実施しました。

引き続き平成2年2月12日に都市計画決定を行い、同年9月1日に都市計画法および下水道法の事業認可を得ました。平成3年度に管渠工事に、平成4年度には処理場の工事に着手し、平成9年4月1日に処理能力3,800m<sup>3</sup>/日で今津町および新旭町の一部で供用開始しました。

その後、関連町の下水道整備に伴う流入水量の増加に応じて、順次増設を行ってきており、平成26年4月1日現在約16,400m<sup>3</sup>/日の処理能力を有しています。

### (1) 高島浄化センターの概要

項 目		内 容					備 考	
位置(公有財産表による)		高島市今津町今津地先および高島市新旭町饗庭地先						
処 理 場 面 積		約 7.5ha						
下 水 排 除 方 式		分流式						
処 理 方 法		凝集剤添加循環式硝化脱窒法+砂濾過法					1～2号池	
		凝集剤添加ステップ流入式多段硝化脱窒法+砂濾過法					3～4号池	
処理水量(日最大)		全体計画		約29,400m <sup>3</sup> /日				
		H25年度末現在		16,400m <sup>3</sup> /日				
処理区域面積		全体計画		約2,501.0ha				
		H25年度末現在		1,870.7ha				
処理対象人口		全体計画		約46,000人		観光人口を 含まない		
		H25年度末現在		40,384人				
処 理 状 況	区 分	BOD (mg/l)	COD (mg/l)	SS (mg/l)	T-N (mg/l)	T-P (mg/l)		
	H25年度流入水質		160	82.8	147	27.6	3.06	
	放 流 水 質	排水基準値	20	20	70	15	0.5	日間平均値
		基準値	10	20	40	(※)10,15	0.5	
		目標値	4.8	10	6	10	0.25	
H25年度実績		1.0	5.6	N.D.	4.2	0.04	年平均値	

- ・排水基準値とは、水質汚濁防止法第3条等によって定められている基準値である。
- ・基準値とは、下水道法第8条によって定められる技術上の基準値である。
- ・目標値とは、維持管理上の自主基準値である。
- ・実績値は、上記の両処理方法を併用して処理した放流水質の平均値である。
- ・N.D.とは「検出せず」のことで、定量限界未満をいう。
- ・(※)10mg/lは、凝集剤添加多段硝化脱窒法+砂濾過法の基準値、15mg/lは、凝集剤添加循環式硝化脱窒法+砂濾過法の基準値である。

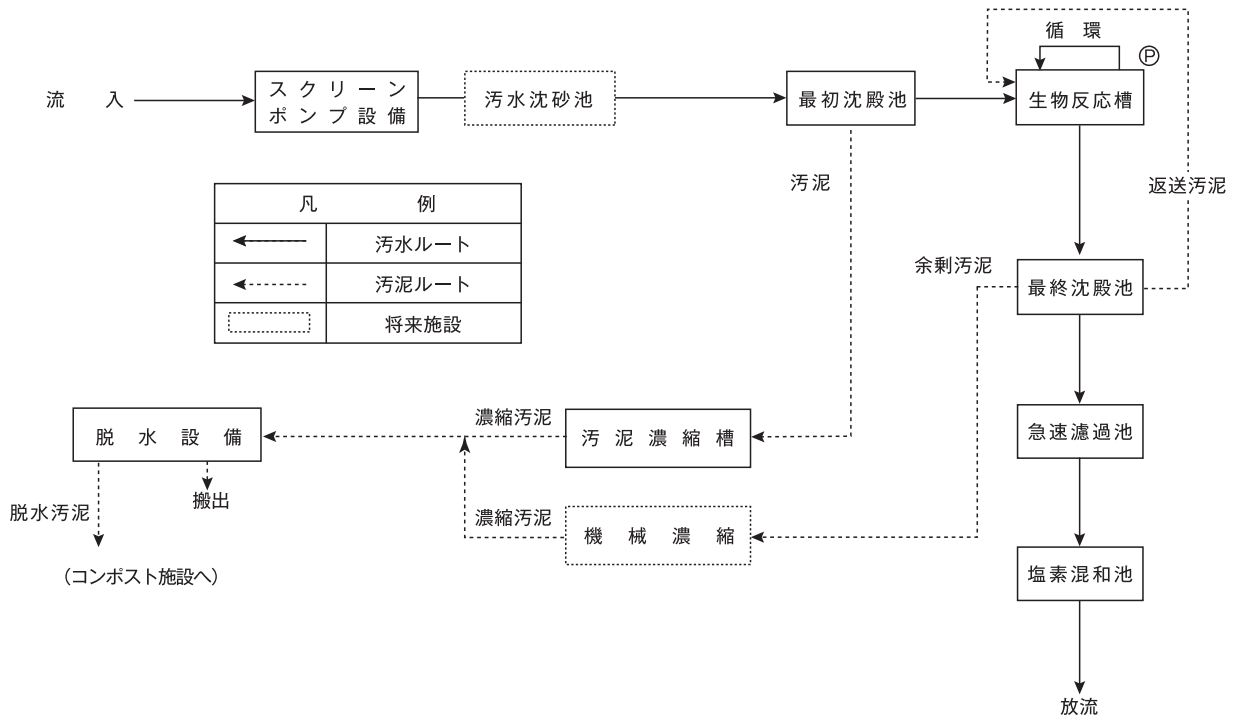
## (2) 施設計画の概要

施設名称	形 式 ・ 寸 法	系 列	全体 計 画	平成25年度末整備量		平成26年度末整備予定	
				土木・建築	機械・電気	土木・建築	機械・電気
スクリーン	巾 1.5m×長 9.5m×有効深 0.82m		2水路	2水路	1水路	—	—
主ポンプ 設 備	立軸渦巻斜流ポンプ φ 250		1台	1棟	2台		
	立軸渦巻斜流ポンプ φ 350		3台		1台		
汚水沈砂池	巾 2.0m×長 9.5m×有効深 0.7m		2池	—	—	—	—
最初沈殿池	巾 8.5m×長 8.5m×有効深 3.8m	1系	2池	2池	2池	—	—
	巾 8.1m×長 8.1m×有効深 3.8m	2,3系	5池	2池	2池		—
生物反応槽	巾 8.5m×長53.7m×有効深 6.0m	1系	2池	2池	2池	—	—
	巾 8.1m×長47.2m×有効深 6.0m	2,3系	5池	2池	2池		—
最終沈殿池	巾 8.5m×長31.0m×有効深 3.0m	1系	2池	2池	2池	—	—
	巾 8.1m×長37.2m×有効深 3.0m	2,3系	5池	2池	2池		—
急速濾過池	巾 5.0m× 有効長 6.1m	1系	2池	2池	2池		
	巾 5.0m× 有効長 4.9m	2,3系	3池	—	—		
塩素混和池	巾 2.5m×長21.0m×有効深 2.0m		1池	—	—	—	—
送風機設備	多段ターボブロワ 30m <sup>3</sup> /分		2台	1棟	—		—
	多段ターボブロワ 40m <sup>3</sup> /分		2台		3台		—
重力濃縮槽	円形有効径 5.0m×有効深 3.0m		1槽	1槽	1槽	—	—
	円形有効径 5.0m×有効深 3.0m		1槽	—	—	—	—
機械濃縮設備	常圧浮上濃縮機 2.4m <sup>2</sup> /基		3台	1棟	2台	—	—
脱水設備	ベルトプレス 1.5m		1台	1棟	1台	—	—
	スクリュープレス φ 500		2台	1棟	1台	—	—
放流管渠	◎1.10m		1,550m	1,550m	—	—	—

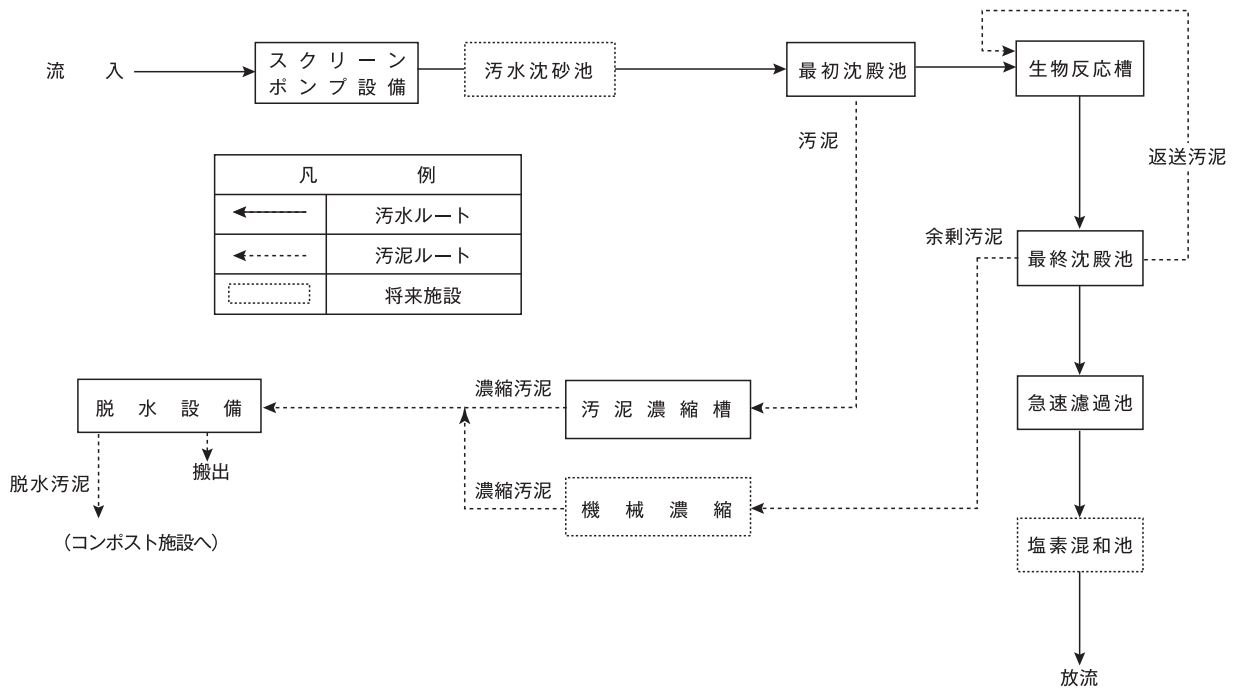
# 高島浄化センター 一般平面図



処理フローシート（1～2号池） 循環式硝化脱窒法



処理フローシート（3～4号池） ステップ流入式多段硝化脱窒法



### (3) 幹線管渠およびポンプ場計画の概要

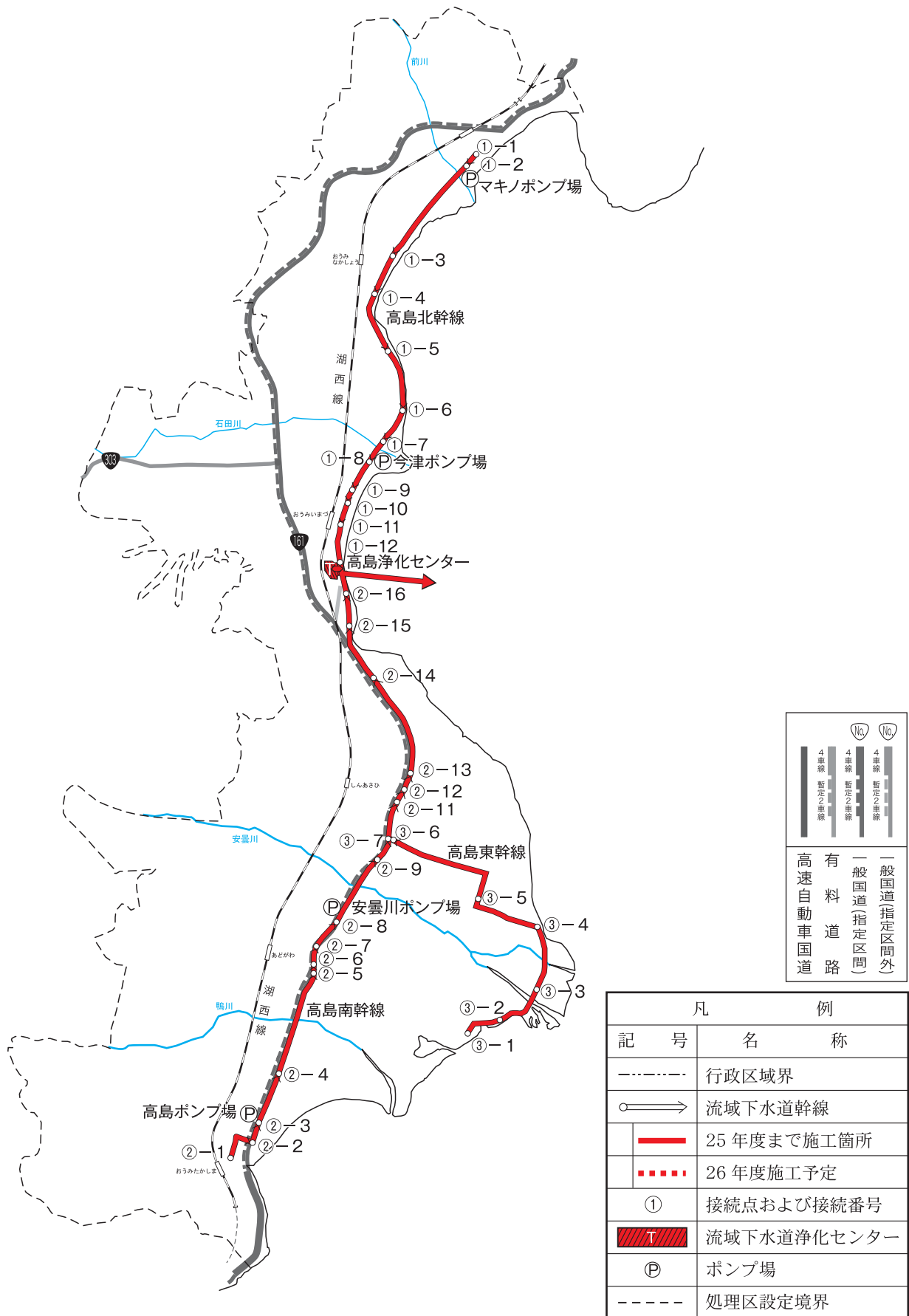
#### 【幹線管渠】

全 体 計 画					事業計画
名 称	位 置		区 域		区 域
	起 点	終 点	管径または幅員	延 長	延 長
高島北幹線	高島市新旭町 饗庭字北浦	高島市マキノ町 高木浜2丁目	◎0.90m～◎0.50m (一部◎0.30m×2)	約8,690m	約8,690m
高島南幹線	高島市新旭町 饗庭字北浦	高島市勝野字市内	◎1.35m～◎0.40m (一部◎0.30m×2)	約12,100m	約12,100m
高島東幹線	高島市新旭町 新庄字北中曾	高島市安曇川町 四津川字浜畑	◎0.15m～◎0.35m	約6,530m	約6,530m
計			3 幹線	約27,320m	約27,320m

#### 【ポンプ場】

名 称	位 置	敷地面積	計画汚水量 (時間最大)
マキノポンプ場	高島市マキノ町西浜870番2	約690m <sup>2</sup>	約1.9m <sup>3</sup> /分
今津ポンプ場	高島市今津町南新保392番	約550m <sup>2</sup>	約4.4m <sup>3</sup> /分
安曇川ポンプ場	高島市安曇川町青柳1559番1	約540m <sup>2</sup>	約11.1m <sup>3</sup> /分
高島ポンプ場	高島市勝野253番1	約630m <sup>2</sup>	約2.3m <sup>3</sup> /分

# 高島処理区幹線暗渠およびポンプ場図



高速自動車国道	有料道路	一般国道(指定区間)
		一般国道(指定区間外)

凡 例	
記 号	名 称
-----	行政区域界
	流域下水道幹線
	25年度まで施工箇所
	26年度施工予定
①	接続点および接続番号
	流域下水道浄化センター
P	ポンプ場
-----	処理区設定境界

#### (4) 整備状況と平成26年度事業計画

##### 【管渠】

(総括)

(km)

年 度	延	長
		累 計
H 3	0.1	0.1
4	0.9	1.0
5	1.2	2.2
6	2.3	4.5
7	3.0	7.5
8	1.4	8.9
9	5.0	13.9
10	5.4	19.3
11	1.3	20.6
12	—	20.6
13	—	20.6
14	—	20.6
15	3.7	24.3
16	1.5	25.8
17	1.0	26.8
18	0.1	26.9
19	0.4	27.3
全体計画延長		27.3

※高島北幹線の二条管部分約4.1kmが未整備

(幹線別内訳)

(km)

幹線名	H25年度末	H26年度(予定)	計	備 考
高 島 北 幹 線	8.7 (8.7)	—	8.7	H10年度完結
高 島 南 幹 線	12.1 (12.1)	—	12.1	H11年度完結
高 島 東 幹 線	6.5 (6.5)	—	6.5	H19年度完結
計	27.3 (27.3)	—	27.3	

※ ( ) 外の数字は完成換算延長であり、( ) 内は平成26年4月1日現在の供用済管渠延長である。

##### 【ポンプ場】

名 称	平成25年度末の状況 (予備機を含む)	平成26年度の計画
マキノポンプ場	平成11年4月通水、現有能力 6.0m <sup>3</sup> /分	
今津ポンプ場	平成13年3月1日通水、現有能力 9.4m <sup>3</sup> /分	
安曇川ポンプ場	平成12年4月通水、現有能力 11.6m <sup>3</sup> /分	
高島ポンプ場	平成13年3月31日通水、現有能力 5.0m <sup>3</sup> /分	